**令和６年度第３回すみだタウンミーティング　実施報告書**

* テーマ

おもしろ企画会議　～のワクワクで“すみだ”を創ろう！！～

* 実施日時・会場

令和6年12月18日（水）　午後6時30分～8時30分

すみだリバーサイドホール 2階 イベントホール（墨田区役所併設）

* 対象者

墨田区在住・在勤・在学者

* 参加人数

31人（企画運営委員6人を含む）

* 当日実施概要（内容の詳細は議事録を参照）

（１）企画運営委員から、テーマ設定について発表

（２）アイスブレイク（自己紹介）

　　よりお互いを知って距離が縮まるように、以下のお題を設定した。

①呼ばれたい名前

②すみだとの関わり（どっぷりorちょっぴり）について

③いま、１万円があったら何に使うか

（３）グループワーク　～区長が思いつかないような地域力があがる企画を考える～

　　①事前に選択したテーマ（「教育・こども」「健康・福祉」「防災」「文化・スポーツ」「環境」）に関連する課題を考える。

②①の課題の理想の状態を考える。

③理想の状態に近づくためのおもしろい企画を考える。

（４）発表・区長コメント

（５）区長総括

* 各班の発表内容（※一部抜粋。詳細は議事録を参照）

|  |
| --- |
| A班（教育・こども） |
| 課題：地域交流の場や、子どもと大人が関わる機会が少ない  理想：子どもたち自身が地域イベントの企画をしている  企画：『アワー・パフォーマンス』  ・子ども会対抗ワークショップ  ・子どもと地域の人たちでお祭りをして、子どもが一つ企画をする |

|  |
| --- |
| B班（健康・福祉） |
| 課題：一人暮らしの高齢者等の孤立化  理想：みんな違って、みんないい⇒「孤独をなくす」社会をつくる  企画：「ラジオ体操の活用」  ・ラジオ体操マップを作り、月１回「すみだ体操の日」を制定し、高校生リーダーが運営する  ・体操だけでなく、参加するとお風呂券がもらえたり、炊き出しが食べられるなど、「〇〇が一緒に体験できます」のような体験イベントにする |

|  |
| --- |
| C班（防災） |
| 課題：コミュニケーションの希薄さ  理想：地域の人が顔見知りになれる  企画：「銭湯や町会会館を情報発信・情報収集の場に使い、人の集まる場にする」  ・町会会館等が人の集まる場になるよう、例えば地域に住んでいる方の職業を学ぶ場や、地域の幼稚園・保育園の絵画展や発表の場にするなど、開放する日を設けて人を集める  ・12か月通うと、地域の何かがもらえるような仕組みを作る |

|  |
| --- |
| D班（文化・スポーツ） |
| 課題：情報を届けたい人に情報が届いていない  理想：知識・時間がなくても必要な人に情報が届いている  企画：「墨田区のイベントマッチングアプリ」  ・文化スポーツの各主催団体にイベントの登録をしてもらい、自分が必要な情報を登録しておくとマッチングできるような仕組みを作る  ・小中学校で配布される端末に、墨田区のアプリを入れておいておけば、子どもが墨田区の情報を得るきっかけとなる |

|  |
| --- |
| E班（文化・スポーツ） |
| 課題：墨田区の文化やスポーツが知られていない  理想：地域の人たちがイベントをどんどん立ちあげ、“ことづくり”の楽しいすみだになる  企画：「イベントプロデューサー講座の復活」  ・イベントの立ち上げ方やプロデュースの方法が学べる講座の開催  ・イベントの会場として使える公園や施設をめぐるイベントの開催 |

|  |
| --- |
| F班（環境） |
| 課題：区内に畑が一か所しかない  理想：各家庭が畑を持ってプチ農家のような役割を果たす  公園や学校の一部を利用して畑を作っていく  企画：「区内に畑を増やす仕組みづくり」  ・畑をやりたい方に、家庭でもできるプランターや種や土などを提供する  ・区民が作った野菜が集まる青果店や、料理を提供するレストラン  ・SNS担当を作って、育て方の情報提供や、助け合いの情報交換などの仕組みを作る |

* 添付資料

１　アンケート集計結果

２　議事録

